

# ～活動中間ビジュアル報告～

団体名

特定非営利活動法人かがやけ安八

活動のテーマ

地域の空き家「みのむしハウス」を活用して、子どもたちの健全な育成と交流を図る活動

助成対象活動  
に至った理由  
や背景

行政側より、小学校の下校時間になると家庭の諸事情で行き場を失った子どもが町役場のフロアに集まってくることを相談され、そんな子どもたちが心から安心して休める居場所を作ってあげたいと思ったのが今回の活動に至った最大の理由です。

活動進捗状況

2021年

- 1月 1日：築45年経過した空き家物件の賃貸開始
- 1月～4月：施設内外のリフォームと外構工事実施
- 4月～5月：壁画資金のクラウドファンディング実施
- 5月～6月：駄菓子売りの開設
- 6月 5日：駄菓子売り場のみ先行オープン
- 7月19日：壁画完成
- 8月 1日：みのむしハウスオープン  
子ども食堂開始、子どもの仕事体験開始

施設外



改装前

改装後

施設内



改装前

改装後

※施設内外の改装、および駄菓子売り場の開設等は、すべてNPO会員による手作業にて実施しました。

## 1. 子ども食堂の開設

8月1日より、町内初の子ども食堂を開設しました。本来は施設内での飲食も可能ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面はテイクアウト、および無料宅配のみに対応します。食材の調達やメニューの考案、配達などは、日頃事業として行っている高齢者向け配食サービスのノウハウを活用して実施します。

- お弁当1食100円にて提供
- 年中無休で提供
- 昼食、夕食の1日2食提供可能
- 宅配無料
- 栄養バランスやメニューに配慮

100円  
弁当



無料宅配  
実施

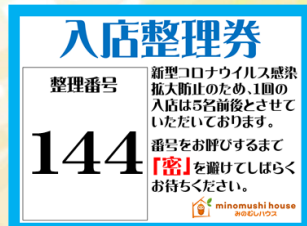


## 2. 駄菓子売り場の開設

6月5日より、シニア世代も楽しめるよう、昭和レトロの雰囲気 연출した駄菓子売り場を開店させました。開店初日は100人以上の行列ができ、普段は閑散とした施設周辺が人で溢れかえるほどでした。急遽、施設内外での密を防ぐため、入店人数を制限（4人まで）し、整理券を配布して対応しました。その他マスクの着用、検温、手指の消毒など、感染防止対策を徹底して実施しました。今後この売り場で子どもたちとコミュニケーションを図る中で、本当に支援が必要な子どもを見つけ出したいと思います。



開店前には数百人が行列



入場整理券を配布して密防止



1回の入店人数は4人に制限



レジは81歳のシニアさんが担当

## 3. 仕事体験の開始

8月1日より、駄菓子売り場を活用した子どもの仕事体験を開始しました。体験時間に応じて「だがり引換券」がもらえる仕組みとなっています。

仕事体験の内容

- 接客、レジ操作、袋詰め
- 商品の検品、値札貼り
- 商品の発注、陳列
- 新商品の導入とPOP作成



有効期限  
2022年3月31日



#### 4. イベントの開催

子どもたちに楽しい思い出をたくさん作ってもらうため、今後様々なイベントを企画して開催します。現在、コロナ禍による緊急事態宣言下のため縮小傾向になるのは仕方ありませんが、状況を見極めながら計画を立て確実に実行したいと思えます。7月に七夕笹飾りのイベントを開催しましたが、子どもからお年寄りまで幅広い年代が参加され、大変好評でした。今後も多世代交流を意識した内容とします。

#### 今後開催予定のイベント

- ・七夕笹飾り（7月7日実施済）
- ・NPO農園でのいも掘りまつり（10月開催）
- ・クリスマスリース作り（11月開催）
- ・年末餅つき大会（12月開催予定） など

七夕  
笹飾り



10月  
開催予定



#### 5. 壁画の制作とクラウドファンディングの実施

施設が小学校の通学路沿いにあることから、毎日400人以上の子どもたちが目にする外壁に、安八町在住で世界的に活躍するストリートアーティスト小川亮氏へ壁画の制作を依頼しました。

デザイン料や製作料はすべて無償でやっていただけることになりましたが、200色を超えるスプレー塗料代などの費用はクラウドファンディングを実施して調達しました。小川氏のアートはステンシルという特殊な技法を使うため、通常制作期間は半年近くを要しますが、地元の子どものためにと最優先で取り組んでいただき7月19日に完成しました。現在は子どもたちはもちろんのこと、小川氏のファンや地域の方々など、多くの方が訪れるインスタスポットとして賑わっています。



#### 6. 広報活動

広く活動内容を知っていただくため、広報活動にも力をいれました。SNSでの発信はもちろんのこと、テレビ局や新聞社など、ニュースリリースを作成して発信しました。その結果、NHKや民放各局、地元ケーブルテレビ局、新聞社や地域の広報誌、フリーペーパーに至るまで短期間で様々な取材を受け、地域内外から多くの反響を得ることができました。美容室からの無償ヘアカットや農家からの野菜提供の申し出など、支援の輪が広がってきています。

#### ◆NHK情報番組



#### ◆日本テレビ



#### ◆NHKニュース



#### ◆地元ケーブル局



#### ◆中京テレビ（10月放送予定）



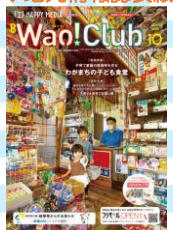
#### ◆中日新聞



#### ◆岐阜新聞



#### ◆地元情報誌表紙



#### ◆地元生活情報誌特集記事



#### 今後の活動予定

活動を持続させるため、足腰の強い運営体制の確立を図ります。特に活動に参加してくれる支援者の育成と物資や資金面でサポートしてくれる協賛企業の募集に注力したいと考えています。協賛企業には、壁画の隣に協賛社看板を設置し、企業名やQRコードを記載してPRしています。また、今後は活動内容をより充実させることも重要です。コロナ禍の状況を見極めながらとなりますが、本当に支援が必要なご家庭や子どもへ確実に食事を提供できるような仕組みを構築します。駄菓子売り場を活用しての仕事体験は、来春までに30人以上の参加者を目指します。多世代交流を意識したイベントも毎月1回以上、計画的に開催します。

